

# 「学校大好き! 湯尾大好き!」

## 南越前町立湯尾小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	2回(のべ) 9日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	5人
授業ボランティア(含:低ボラ)	24人
登下校支援ボランティア	33人
その他(図書・お花)	5人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

#### 具体的活動内容

地元の農家から「学習田」を借り、5、6年生28名がPTAやボランティア(地域学校協議会、地域の人々)の協力を得て、米作りに取り組んでいる。

#### 【米の収穫まで】

##### ①耕起(4月27日)

子どもたちは、PTA3名の方に協力していただきながら、汗を流しながら鍬で田を耕した。

##### ②田植え(5月23日)

子どもたちは、PTAやボランティア6名の方に教えていただきながら、田植えを行った。泥に足を取られ悪戦苦闘しながら、ころがしも使って苗を植えることができた。

##### ③はさ立て(9月11日)

PTAやボランティア、学校職員12名で、学習田の横にはさを立て、収穫した稲を天日干しにする準備をした。

##### ④稲刈り(9月14日)

子どもたちは、PTAやボランティア8名の方に教えていただきながら、協力して稲を刈り、束ねた。それを、はさ場まで運び、はさに掛けていった。

##### ⑤脱穀・はさ解体(9月26日)

天日干しされた稲をはさから降ろし、地域の方にコンバインで脱穀していただいた。また、コンバインの仕組みが、昔の農具である千歯扱きや唐箕などの働きを持ったものからできていることを教えていただいた。

#### 【収穫した米を使って】

本校では、11月の学習発表会にお世話になったボランティアの方々を招待している。その際に、子どもたちと一緒に学習田で収穫した米を食べていただいている。ご飯とカレーライスは、朝からPTAの方が準備して下さっている。

#### 【米作りを学習の機会として】

5年生は、稲の発育条件を研究してきた。また、昔の人が稲藁を活用した様に、学習田の藁を使って藁草履を作成した。5名のボランティアの方に教えていただきながら、かわいい藁草履ができあがった。



#### 成果と課題

- ・PTAやボランティアの方々と一緒に汗を流し、生活の知恵や技を教えていただいたり、友達を協力したりする中で、地域の方や友達との繋がりを深めることができた。
- ・稲刈りやはさ掛けの間に、地面に落ちた1本の稲を拾い集める子どもの姿が見られた。地域の方の「米1粒1粒が大切なんだ」という言葉を聞いての行動であった。ものを大切に作る心が育つ機会となった。

※A 4 版 1 ～ 2 枚程度で作成してください。